

八王子北高校の探究活動

[2024.3.4 東京都立大学高大連携室公開シンポジウム報告書 \(1.8MB\)](#)

※本校校長が出席し、実践報告を行いました。

[2024.1 東京都教育委員会職員表彰\(学校・グループの部\)教育活動実践の概要 \(2.9MB\)](#)

※本校は、「探究活動の推進」において団体表彰されました。





[2022.12ハチ北の探究活動 \(327.7KB\)](#)

[令和2年度 探Q！RESAS～成果発表会～](#)

東京都立大との連携

新入生対象に、「探究とはなにか？」というタイトルで
東京都立大の先生による講演を行っています。

[「東京都立大 高大連携室」サイト](#)

【SDG'sへの取り組み】

カードゲーム「2030 SDGs」に取り組みながら、
SDGs への理解を深めています。

[2022.12ハチ北の探究活動 \(327.7KB\)](#)

[令和2年度 探Q！RESAS～成果発表会～](#)

東京都立大との連携

新入生対象に、「探究とはなにか？」というタイトルで

東京都立大の先生による講演を行っています。

[「東京都立大 高大連携室」サイト](#)

【SDG'sへの取り組み】

カードゲーム「2030 SDGs」に取り組みながら、

SDGs への理解を深めています。

[「2030 SDGs」サイト](#)

【高尾山を題材に生物多様性を学ぶ】

高尾山ビジターセンターと連携して、

生物多様性について知り、

高尾山を探究的視点から学びます。

[「高尾山ビジターセンター」サイト](#)

【夏のフィールドワーク】

夏休みに「八王子を探検しよう」と題して

フィールドワークにでかけます。

[「夏のフィールドワーク」レポート \(2.2MB\)](#)

【UNIQLO「”届けよう, 服のチカラ”プロジェクト】

本校では, UNIQLO「”届けよう, 服のチカラ”プロジェクト」に
地域の小学校と連携しながら参加しています。

[2022小学校向け案内 \(167KB\)](#)

[2022小学校保護者向け案内 \(219.4KB\)](#)

日本教育新聞に掲載されました。

※転載許可済みです。

「服のチカラ」プロジェクトとは

ユニクロ・ジーユーを展開する㈱ファーストリテイリング(以下F&U)がUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)にも取り組む小・中・高校生対象の参加型学習プログラム「届けよう、服のチカラ」プロジェクトが今年10周年を迎える。このプログラムは、子どもが主体となって回収した子ども服をF&Uが世界各国の難民・避難民に届けようという、持続可能な開発目標(SDGs)の考え方も親和性が高く、昨今の教育現場でさらに注目される「届けよう、服のチカラ」プロジェクトについて、その狙いや背景に迫った。

「届けよう、服のチカラ」プロジェクトとは

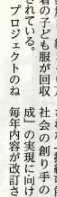
F&Uは、服の持つ力(力)を最大限活用する「届けよう、服のチカラ」という目的の下、グローバル規模の社会課題「難民問題」や「環境問題」に関する17のSDGs(持続可能な開発目標)を軸に、子どもが主体となって回収した子ども服をF&Uが世界各国の難民・避難民に届けようという、持続可能な開発目標(SDGs)の考え方も親和性が高く、昨今の教育現場でさらに注目される「届けよう、服のチカラ」プロジェクトについて、その狙いや背景に迫った。



オリジナルの回収ボックスを作成し小学校へ渡しに行く高校生ら

「服のチカラ」で育むSDGsやESDへの意識

「届けよう、服のチカラ」プロジェクトは、子どもが主体となって回収した子ども服をF&Uが世界各国の難民・避難民に届けようという、持続可能な開発目標(SDGs)の考え方も親和性が高く、昨今の教育現場でさらに注目される「届けよう、服のチカラ」プロジェクトについて、その狙いや背景に迫った。



校種を越えた呼びかけで新たな交流が生まれた

「届けよう、服のチカラ」プロジェクトは、子どもが主体となって回収した子ども服をF&Uが世界各国の難民・避難民に届けようという、持続可能な開発目標(SDGs)の考え方も親和性が高く、昨今の教育現場でさらに注目される「届けよう、服のチカラ」プロジェクトについて、その狙いや背景に迫った。

「届けよう、服のチカラ」プロジェクトは、子どもが主体となって回収した子ども服をF&Uが世界各国の難民・避難民に届けようという、持続可能な開発目標(SDGs)の考え方も親和性が高く、昨今の教育現場でさらに注目される「届けよう、服のチカラ」プロジェクトについて、その狙いや背景に迫った。



QRコード

2023年1月2日号

著作権は日本教育新聞社に帰属し、
記事、画像等の無断転載をお断りします。

「届けよう、服のチカラ」プロジェクト」サイト

【修学旅行「学校交流で地域活性化を考える」】

広島県立加計高校(広島県安芸太田市)と連携して、
地域活性化について意見交換をしました。



[「広島県立加計高校」サイト](#)

【探究講演会】

「1つの道を究めている」方のお話を聴くことにより、
探究的思考力を学ぶ取り組みを行っています。

令和4年度は、「日本刀名匠」をお招きしました。

[2022.12.21探究講演会案内 \(319.9KB\)](#)





[「全日本刀匠会」サイト](#)

令和5年度は、「ゲーム・エンターテインメント業界」で活躍されている方をお招きしました。

西 ～にし～

Good News

■八王子北高校「探究講演会～林哲煥（イムチョルファン）氏をお迎えして～」

11月1日（水）の総合的な探究の時間に株式会社NK T 3代表取締役の林哲煥（イム・チョルファン）氏をお迎えして、ゲーム・エンターテインメント業界で活躍される林氏の講演を通じて生徒のキャリア形成を支援することを目的とした探究講演会を実施しました。

林氏はバンダイナムコ、コナミ、ポコパン、タイトーと複数のゲームメーカーを経験された方で、現在では誰もが知る「パワプロ」、「ウィニングイレブン」、「太鼓の達人」、「鉄拳」などの数々のヒット作を世に売り出した人物です。

講演会の中では印象に残る言葉が沢山ありました。「夢を相手に伝えることは大切なこと。」、「失敗から学ぶ点が多く、失敗したらお祝いしよう。」、「外国に行くのに、言葉は大事な要素ではない。まずは行ってみよう。」、「海外は市場が沢山あって、機会も沢山ある、そのときの気づきがすごい。」等、高校生の心に言葉が直接的に伝わりました。また、元人事部としての経験から、フルマラソンを走りきったこと、メキシコでヶ月過ごしたこと等、絶対に一日で達成できない印象のある事例が採用試験の際に評価されることがあると教えていただきました。

講演会後のアンケートでは「学生のうちにすべき事が見えてきた。」、「海外への興味がわいてきた。」という意見が多く、生徒の海外への志向が高まったことが分かりました。また、「なりたい職業や方向性が見えてきた。」、「物事へのチャレンジ精神がアップした。」、「早く働いてみたくなった。」と生徒たちのキャリア形成とチャレンジする気持ちの大切さを学ぶとても良い講演会となりました。



（教諭・木下 慶治）



配信済みのGood Newsは、以下の掲示板から御覧になれます。

[【令和5年度GoodNews】](#) [【令和4年度特集号】](#) [【令和4年度GoodNews】](#) [【令和3年度GoodNews】](#)

【八王子市「高校生によるまちづくり提案発表会」】

市内都立高校5校と合同で、

八王子の地域課題解決に向けて学習に取り組んだ学習成果を

市長・教育長に発表しています。

令和5年度

2023.2.12八王子市高校生によるまちづくり提案発表会









■八王子北高等学校「高校生によるまちづくり提案発表会」

2月11日（日）、八王子駅北口八王子学園都市センターにて、八王子市主催の「高校生によるまちづくり提案発表会」が実施されました。今回で4回目（対面で2回目）のイベントとなり、八王子市内の高等学校、中等教育学校がそれぞれの探究学習の成果を発表し合いました。

午前中は「子ども・若者」「安心・安全」「環境・リサイクル」「地域活性化」の4つのテーマに分かれてポスター発表が行われました。調べ学習に終始するのではなく、フィールドワークなど実際の行動に基づく発表には説得力があり、発表する生徒は自信に満ちていました。探究を進めて企業や自治体と連携を始めている事例もあり、高校生の取組が「八王子の課題解決につながっている」ことを実感するとともに大きな成果だと感じられました。

午後は各校の代表生徒による口頭発表が実施されました。観光、教育、農業、死亡交通事故の予防、治安の向上、学生と地域の連携など、単なる町おこしとは異なる、高校生ならではの視点から理想的なまちづくりのための提案がなされました。そのアプローチが千差万別だったからこそ、参加した生徒全員に新たな気づき、学びがありました。

最後にはクロースドセッションとして八王子市の初宿和夫市長・安間英潮教育長と代表生徒による意見交換が行われました。生徒たちは緊張した面持ちでしたが、これまでの探究学習に対する苦勞や思い、今後の抱負について共有し合うことができました。会全体を通して発表のレベルが上がっており、これまでの各校における探究学習の学習成果が感じられる機会となりました。

（探究委員会 教諭・木下 慶治、教諭・藤岡 純也）



ポスター発表の様子



口頭発表の様子



クロースドセッションの様子

配信済みのGood Newsは、以下の掲示板から御覧になれます。

[【令和5年度GoodNews】](#) [【令和4年度GoodNews】](#) [【令和4年度GoodNews】](#) [【令和3年度GoodNews】](#)

いろんな本に巡りあうことで、世界が広がる。

東京都大会に向けて、予選会を行っています。

[「ビブリオバトル公式サイト」](#)

【成果発表会】

年間に2回、成果発表会を開催しています。

[2023.3.15 令和4年度 探究成果発表会 保護者案内 \(164.3KB\)](#)

※本校保護者は観覧が可能です。3月10日(金)申込〆切。

【グローバル探究部】

①JTＢ主催「地球いきいきプロジェクト」に参加し、

「桑都日本遺産センター八王子博物館」の見学や「桑都八王子かるた」体験をしました。



[「JTB 地球いきいきプロジェクト」サイト](#)

②特定非営利活動(NPO)法人八王子国際協会主催の

「児童・生徒のための国際理解教育ワークショップ」に

参加しました。

西 ～にし～

Good News

■八王子北高等学校「児童・生徒のための国際理解教育ワークショップ」

令和6年2月18日(日)八王子市学園都市センター12階の第5セミナー室で、特定非営利活動(NPO)法人八王子国際協会主催の「児童・生徒のための国際理解教育ワークショップ」に本校探究部の生徒4人(1年生3人、3年生1人)が参加しました。

冒頭、八王子国際協会副理事長の鈴井宣行氏より八王子市の人口56万人に対して、およそ1.5万人の外国籍の方々が暮らしており、「八王子市に暮らしている日本人は相手を理解して、多文化共生へ一歩踏み出すことが大切だ。」という説明がありました。その後、4グループに生徒が分かれ、次のワークショップに臨みました。

【ワーク内容(原文まま)】

たけしさんとつよしさんは、同じクラスの、なかよしの友だちです。修学旅行に行き、二人で同じ部屋を使うことになりました。自由時間に、二人はおしゃべりをしながら、それぞれのおやつを出して食べることにしました。つよしさんは、自分もってきたチョコレートを箱から出していました。つよしさんは、トイレに行きたくなり、部屋から出ていきました。しばらくして、つよしさんがもどってくると、チョコレートが、すべてなくなっていました。つよしさんは、「ぼくのチョコレートは?」とたずねると、たけしさんは、「ぼくの好きなチョコレートだったので全部食べた」と言いました。

【質問】

たけしさんの行動について、あなたはどのように思いますか。また、それはなぜですか。

A 仲良しなので、ぜんぜん気にしない。(肯定的)、B 変な気持ちでしたが、友だちだから問題にしない。(やや肯定的)、C あまりいい気持ちではない。(やや否定的)、D ひど過ぎる。許せない。(否定的)

今回参加した児童・生徒の全体結果は、ABを合わせて50%、CDを合わせて50%でした。参考として、上越市の中学校では、ABを合わせて63%、CDを合わせて37%で、中国の中学校では、ABを合わせて81%、CDを合わせて19%と、日本と中国の中学生では結果に差が見られました。本校の生徒と教員合わせて6人の結果は、Aが1人、Bが3人、Cが1人、Dが1人となり、上越市の中学校とほぼ割合が同じでした。ある男子生徒は「多文化を理解するのは大切なことで、他人の考え方を認め、良い人間関係を築けるようになりたい」と感想を述べていたことが印象的でした。国や年代の違いがあっても当然で、相手の考えや価値観をお互いに認めていくことが「多文化共生の第一歩」であるという大切なことを学んだ良い機会となりました。

(主任教諭・島村 和夫、副校長・友常 裕)



イベントポスター



ワークショップの様子

配信済みのGood Newsは、以下の掲示板から御覧になれます。

[【令和5年度GoodNews】](#) [【令和4年度特集号】](#) [【令和4年度GoodNews】](#) [【令和3年度GoodNews】](#)

農業体験プロジェクト

八王子市立上川口小学校と連携し、田植え体験を行います。

上川口小学校の子どもたちと
田植えをしませんか

探
究
部

農業体験 プロジェクト

誰でも参加できます

地域振興、農業系、バイオ
テクノロジーなどに興味のある生徒
におすすめです

6/3 土 [集合] 8:30

[終了] 12:00ぐらい

詳しくは6月1日までに職員室、島村ま
で声をかけてください

稲作体験



2023. 6. 3 上川の里での田植えから、2023. 12. 9の収穫祭まで体験しました。

詳しくはこちらから

<https://youtu.be/AGsQ2OemUgE>

西 ～にし～

Good News

■八王子北高等学校「地域探究活動・稲作体験学習最終章（新米試食会）」

12月9日（土）午前、八王子市内の「上川の里（特別緑地保全地区）」で地域探究活動の一環として、稲作体験学習の締め括りとして、新米試食会が実施され、校長、副校長を含めた引率教員5人と探究部の生徒6人が参加しました。

この日は12月とは思えない温かさで、6月初旬の田植えに始まり、10月の稲刈りと全て天候に恵まれ、順調に地域探究活動が進みました。まずは、釜に火を入れるための薪を割る作業から教わり、6人の生徒全員が初めての薪割り作業を経験することができました。釜でじっくり炊くこと約1時間、ふっくらした新米が炊き上がりました。一つの釜で一升（10合）炊け、三つの釜で三升の新米が炊き上がりました。おかずにはシカの肉の焼き肉やウィンナー、漬物、しし汁を用意くださったり、新米を焼きおにぎりにしてくださったり、とお腹いっぱい食べ、生徒から「日本人で良かった～」という声があがりました。「ここって東京都だね、東京都内でシカやイノシシの肉が食べられるなんて思わなかった。」「農業は時間と手間がかかるけど、手間をかけた分だけ収穫したものが美味しく感じる。」という感想を言う生徒がいて、探究部のテーマである「自ら感じ、自ら学ぶ」ことが実践できたと感じる瞬間でした。

今後も探究部は引き続き、実体験に根ざした地域探究活動を続けていきます。



釜で炊く様子

（副校長・友常 裕）



配信済みのGood Newsは、以下の掲示板から御覧になれます。

[【令和5年度GoodNews】](#) [【令和4年度特集号】](#) [【令和4年度GoodNews】](#) [【令和3年度GoodNews】](#)

トマトケチャップ作り

2023. 9 ハチ北探究部、探究活動で作ったトマトケチャップが完成



トマトケチャップは文化祭で発表されました

(青梅総合高校さんで調理させていただきました)
命名されました)

(トマトマリアージュと

こちらは YouTube で詳しく視聴できます。

こちらから↓

<https://youtu.be/0EDXLEE9iKE>



【その他の探究サイト】

[東京都・高校生起業家養成プログラム「起業スタートダッシュ」](#)

[東京都環境局・東京の自然にタッチ「里山へ GO！」](#)

[東京都ボランティア・レガシーネットワーク](#)

※ボランティア等の情報が掲載されています。

[桜美林大学・ディスカバ](#)

[「2030 SDGs」サイト](#)

【高尾山を題材に生物多様性を学ぶ】

高尾山ビジターセンターと連携して、
生物多様性について知り、
高尾山を探究的視点から学びます。

[「高尾山ビジターセンター」サイト](#)

【夏のフィールドワーク】

夏休みに「八王子を探検しよう」と題して
フィールドワークにでかけます。

[「夏のフィールドワーク」レポート \(2.2MB\)](#)

[2022小学校向け案内 \(167KB\)](#)

[2022小学校保護者向け案内 \(219.4KB\)](#)

日本教育新聞に掲載されました。

※転載許可済みです。

「未来を担う若い世代を育成」

「未来を担う若い世代を育成」

ユニクロ、ジーユーを展開する㈱ファーストリテイリング(以下F.R.)がUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)とともに取り組む、小・中・高校生対象の参加型学習プログラム「届けよう、服のチカラ」プロジェクトが今年10周年を迎える。このプログラムは、子どもが主体となって回収した子ども服を、F.R.が世界各国の難民・避難民に届けるという、持続可能な開発目標(SDGs)の考え方もも親和性が高く、昨今の教育現場でさらに注目を集める「届けよう、服のチカラ」プロジェクトについて、その狙いや背景に迫った。

「届けよう、服のチカラ」プロジェクトとは

F.R.は、服の持つ力を最大限活用する「届けよう、服のチカラ」という目的の下、不要になった服をユニクロやジーユーの店舗や環境問題に関心をもち、世界各国内の難民・避難民へ寄贈するという活動を実施している。2006年よりUNHCRと協働で開始した。その後、難民の約半数を占める18歳未満の子どもの服が慢性不足している現状が明らかになり、2013年から「届けよう、服のチカラ」プロジェクトが、F.R.社員による出張授業を受けた小・中・高校生が主体となり、校内や地域で不要になった子ども服を回収する。回収した服はF.R.が、難民などの服を必要とする人々に届ける仕組みに。これまでに全国から約570校、約36万人の子どもが参加し、約50万着の子ども服が回収されている。

「服のチカラ」で育むSDGsやESDへの意識

「服を守る」「自分の個性を表現する」と回収した服は、個性を表現する「届けよう、服のチカラ」の授業の一つである。課題の一つである難民問題についてF.R.が、社会が解決すべき課題として、授業で活用される教材は、学習指導要領に明記されている。2022年度参加中の3名の高校生は、在籍していた小学校で回収活動が実施されたこと、小学生のころから「届けよう、服のチカラ」に参加していたことが、高学年でF.R.の授業を受けた後、難民への関心が高まったという。また、難民への理解も深まったという。また、回収した服の再利用や、難民への理解も深まったという。また、回収した服の再利用や、難民への理解も深まったという。

「届けよう、服のチカラ」プロジェクト

「届けよう、服のチカラ」プロジェクトは、F.R.社員による出張授業を受けた小・中・高校生が主体となり、校内や地域で不要になった子ども服を回収する。回収した服はF.R.が、難民などの服を必要とする人々に届ける仕組みに。これまでに全国から約570校、約36万人の子どもが参加し、約50万着の子ども服が回収されている。

「届けよう、服のチカラ」プロジェクト

「届けよう、服のチカラ」プロジェクトは、F.R.社員による出張授業を受けた小・中・高校生が主体となり、校内や地域で不要になった子ども服を回収する。回収した服はF.R.が、難民などの服を必要とする人々に届ける仕組みに。これまでに全国から約570校、約36万人の子どもが参加し、約50万着の子ども服が回収されている。



校種を越えた呼びかけで新たな交流が生まれた



オリジナルの回収ボックスを作成し小学校へ渡しに行く高校生ら



「届けよう、服のチカラ」プロジェクトのウェブサイトへアクセスしてください。

2023年1月2日号

著作権は日本教育新聞社に帰属し、

記事、画像等の無断転載をお断りします。

[「届けよう、服のチカラ」プロジェクト」サイト](#)

【修学旅行「学校交流で地域活性化を考える」】

広島県立加計高校(広島県安芸太田市)と連携して、

地域活性化について意見交換をしました。



[「広島県立加計高校」サイト](#)

【探究講演会】

「1つの道を究めている」方のお話を聴くことにより、
探究的思考力を学ぶ取り組みを行っています。

令和4年度は、「日本刀名匠」をお招きしました。

[2022.12.21探究講演会案内 \(319.9KB\)](#)





[「全日本刀匠会」サイト](#)

令和5年度は、「ゲーム・エンターテインメント業界」で活躍されている方をお招きしました。

西 ～にし～

Good News

■八王子北高校「探究講演会～林哲煥（イムチョルファン）氏をお迎えして～」

11月1日（水）の総合的な探究の時間に株式会社NK T 3代表取締役の林哲煥（イム・チョルファン）氏をお迎えして、ゲーム・エンターテインメント業界で活躍される林氏の講演を通じて生徒のキャリア形成を支援することを目的とした探究講演会を実施しました。

林氏はバンダイナムコ、コナミ、ポコパン、タイトーと複数のゲームメーカーを経験された方で、現在では誰もが知る「パワプロ」、「ウィニングイレブン」、「太鼓の達人」、「鉄拳」などの数々のヒット作を世に売り出した人物です。

講演会の中では印象に残る言葉が沢山ありました。「夢を相手に伝えることは大切なこと。」、「失敗から学ぶ点が多く、失敗したらお祝いしよう。」、「外国に行くのに、言葉は大事な要素ではない。まずは行ってみよう。」、「海外は市場が沢山あって、機会も沢山ある、そのときの気づきがすごい。」等、高校生の心に言葉が直接的に伝わりました。また、元人事部としての経験から、フルマラソンを走りきったこと、メキシコで一ヶ月過ごしたこと等、絶対に一日で達成できない印象のある事例が採用試験の際に評価されることがあると教えていただきました。

講演会後のアンケートでは「学生のうちにすべき事が見えてきた。」、「海外への興味がわいてきた。」という意見が多く、生徒の海外への志向が高まったことが分かりました。また、「なりたい職業や方向性が見えてきた。」、「物事へのチャレンジ精神がアップした。」、「早く働いてみたくなった。」と生徒たちのキャリア形成とチャレンジする気持ちの大切さを学ぶとても良い講演会となりました。



（教諭・木下 慶治）



配信済みのGood Newsは、以下の掲示板上から御覧になれます。

[【令和5年度GoodNews】](#) [【令和4年度特集号】](#) [【令和4年度GoodNews】](#) [【令和3年度GoodNews】](#)

【八王子市「高校生によるまちづくり提案発表会」】

市内都立高校5校と合同で、

八王子の地域課題解決に向けて学習に取り組んだ学習成果を

市長・教育長に発表しています。

令和5年度

[2023.2.12八王子市高校生によるまちづくり提案発表会](#)





西 ～にし～

Good News

■八王子北高等学校「高校生によるまちづくり提案発表会」

2月11日（日）、八王子駅北口八王子学園都市センターにて、八王子市主催の「高校生によるまちづくり提案発表会」が実施されました。今回で4回目（対面で2回目）のイベントとなり、八王子市内の高等学校、中等教育学校がそれぞれの探究学習の成果を発表し合いました。

午前中は「子ども・若者」「安心・安全」「環境・リサイクル」「地域活性化」の4つのテーマに分かれてポスター発表が行われました。調べ学習に終始するのではなく、フィールドワークなど実際の行動に基づく発表には説得力があり、発表する生徒は自信に満ちていました。探究を進めて企業や自治体と連携を始めている事例もあり、高校生の取組が「八王子の課題解決につながっている」ことを実感するとともに大きな成果だと感じられました。

午後は各校の代表生徒による口頭発表が実施されました。観光、教育、農業、死亡交通事故の予防、治安の向上、学生と地域の連携など、単なる町おこしとは異なる、高校生ならではの視点から理想的なまちづくりのための提案がなされました。そのアプローチが千差万別だったからこそ、参加した生徒全員に新たな気づき、学びがありました。

最後にはクロースドセッションとして八王子市の初宿和夫市長・安間英潮教育長と代表生徒による意見交換が行われました。生徒たちは緊張した面持ちでしたが、これまでの探究学習に対する苦勞や思い、今後の抱負について共有し合うことができました。会全体を通して発表のレベルが上がっており、これまでの各校における探究学習の学習成果が感じられる機会となりました。

（探究委員会 教諭・木下 慶治、教諭・藤岡 純也）



ポスター発表の様子



口頭発表の様子



クロースドセッションの様子

配信済みのGood Newsは、以下の掲示板から御覧になれます。

[【令和5年度GoodNews】](#) [【令和4年度掲載号】](#) [【令和4年度GoodNews】](#) [【令和3年度GoodNews】](#)

書評合戦「ビブリオバトル」への取り組み

いろんな本に巡りあうことで、世界が広がる。

東京都大会に向けて、予選会を行っています。

[「ビブリオバトル公式サイト」](#)

【成果発表会】

年間に2回、成果発表会を開催しています。

[2023.3.15 令和4年度 探究成果発表会 保護者案内 \(164.3KB\)](#)

※本校保護者は観覧が可能です。3月10日(金)申込〆切。

【グローバル探究部】

①JTB主催「地球いきいきプロジェクト」に参加し、

「桑都日本遺産センター八王子博物館」の見学や「桑都八王子かるた」体験をしました。





[「JTB 地球いきいきプロジェクト」サイト](#)

②特定非営利活動(NPO)法人八王子国際協会主催の

「児童・生徒のための国際理解教育ワークショップ」に

参加しました。



■八王子北高等学校「児童・生徒のための国際理解教育ワークショップ」

令和6年2月18日(日)八王子市学園都市センター12階の第5セミナー室で、特定非営利活動(NPO)法人八王子国際協会主催の「児童・生徒のための国際理解教育ワークショップ」に本校探究部の生徒4人(1年生3人、3年生1人)が参加しました。

冒頭、八王子国際協会副理事長の鈴井宣行氏より八王子市の人口56万人に対して、およそ1.5万人の外国籍の方々が暮らしており、「八王子市に暮らしている日本人は相手を理解して、多文化共生へ一歩踏み出すことが大切だ。」という説明がありました。その後、4グループに生徒が分かれ、次のワークショップに臨みました。

【ワーク内容(原文まま)】

たけしさんとつよしさんは、同じクラスの、なかよしの友だちです。修学旅行に行き、二人で同じ部屋を使うことになりました。自由時間に、二人はおしゃべりをしながら、それぞれのおやつを出して食べることにしました。つよしさんは、自分もってきたチョコレートを持から出していました。つよしさんは、トイレに行きたくなり、部屋から出ていきました。しばらくして、つよしさんがもどってくると、チョコレートが、すべてなくなっていました。つよしさんは、「ぼくのチョコレートは?」とたずねると、たけしさんは、「ぼくの好きなチョコレートだったので全部食べた」と言いました。

【質問】

たけしさんの行動について、あなたはどのように思いますか。また、それはなぜですか。

A 仲良しなので、ぜんぜん気にしない。(肯定的)、B 変な気持ちでしたが、友だちだから問題にしない。(やや肯定的)、C あまりいい気持ちではない。(やや否定的)、D ひど過ぎる。許せない。(否定的)

今回参加した児童・生徒の全体結果は、ABを合わせて50%、CDを合わせて50%でした。参考として、上越市の中学校では、ABを合わせて63%、CDを合わせて37%で、中国の中学校では、ABを合わせて81%、CDを合わせて19%と、日本と中国の中学生では結果に差が見られました。本校の生徒と教員合わせて6人の結果は、Aが1人、Bが3人、Cが1人、Dが1人となり、上越市の中学校とほぼ割合が同じでした。ある男子生徒は「多文化を理解するのは大切なことで、他人の考え方を認め、良い人間関係を築けるようになりたい」と感想を述べていたことが印象的でした。国や年代の違いがあっても当然で、相手の考えや価値観をお互いに認めていくことが「多文化共生の第一歩」であるという大切なことを学んだ良い機会となりました。

(主任教諭・島村 和夫、副校長・友常 裕)



イベントポスター



ワークショップの様子

配信済みのGood Newsは、以下の掲示板から御覧になれます。

[【令和5年度GoodNews】](#) [【令和4年度特集号】](#) [【令和4年度GoodNews】](#) [【令和3年度GoodNews】](#)

農業体験プロジェクト

八王子市立上川口小学校と連携し、田植え体験を行います。



上川口小学校の子どもたちと
田植えをしませんか

探究部

農業体験 プロジェクト

誰でも参加できます

地域振興、農業系、バイオ
テクノロジーなどに興味のある生徒
におすすめです

6/3 土 [集合] 8:30
[終了] 12:00ぐらい

詳しくは6月1日までに職員室、島村ま
で声をかけてください

[八王子市立上川口小学校サイト](#)

稲作体験



2023. 6. 3 上川の里での田植えから、2023. 12. 9の収穫祭まで体験しました。

詳しくはこちらから

<https://youtu.be/AGsQ2OemUgE>

西 ～にし～

Good News

■八王子北高等学校「地域探究活動・稲作体験学習最終章（新米試食会）」

12月9日（土）午前、八王子市内の「上川の里（特別緑地保全地区）」で地域探究活動の一環として、稲作体験学習の締め括りとして、新米試食会が実施され、校長、副校長を含めた引率教員5人と探究部の生徒6人が参加しました。

この日は12月とは思えない温かさで、6月初旬の田植えに始まり、10月の稲刈りと全て天候に恵まれ、順調に地域探究活動が進みました。まずは、釜に火を入れるための薪を割る作業から教わり、6人の生徒全員が初めての薪割り作業を経験することができました。釜でじっくり炊くこと約1時間、ふっくらした新米が炊き上がりました。一つの釜で一升（10合）炊け、三つの釜で三升の新米が炊き上がりました。おかずにシカの肉の焼き肉やウィンナー、漬物、しし汁を用意して下さったり、新米を焼きおにぎりにして下さったり、とお腹いっぱい食べ、生徒から「日本人で良かった～」という声があがりました。「ここって東京都だよな、東京都内でシカやイノシシの肉が食べられるなんて思わなかった。」「農業は時間と手間がかかるけど、手間をかけた分だけ収穫したものが美味しく感じる。」という感想を言う生徒がいて、探究部のテーマである「自ら感じ、自ら学ぶ」ことが実践できたと感じる瞬間でした。

今後も探究部は引き続き、実体験に根ざした地域探究活動を続けていきます。

（副校長・友常 裕）



釜で炊く様子



配信済みのGood Newsは、以下の掲示板から御覧になれます。

[【令和5年度GoodNews】](#) [【令和4年度特集号】](#) [【令和4年度GoodNews】](#) [【令和3年度GoodNews】](#)

トマトケチャップ作り

2023. 9 ハチ北探究部、探究活動で作ったトマトケチャップが完成



トマトケチャップは文化祭で発表されました

(青梅総合高校さんで調理させていただきました)

(トマトマリアージュと命名されました)

こちらは YouTube で詳しく視聴できます。

こちらから↓

<https://youtu.be/0EDXLEE9iKE>



【その他の探究サイト】

[東京都・高校生起業家養成プログラム「起業スタートダッシュ」](#)

[東京都環境局・東京の自然にタッチ「里山へGO！」](#)

[東京都ボランティア・レガシーネットワーク](#)

※ボランティア等の情報が掲載されています。

[桜美林大学・ディスカバ](#)